



おあしす

vol.22



夏号
平成27年7月

□山陽病院

〒702-8006 岡山市中区藤崎465 TEL:086-276-1101(代) FAX:086-276-1104 E-mail:sanyou@ryoyukai.or.jp

□介護老人保健施設 藤崎苑

〒702-8006 岡山市中区藤崎463 TEL:086-274-4121(代) FAX:086-274-4123 E-mail:fjsken@ryoyukai.or.jp



未来



医療法人社団良友会 山陽病院
院長 中島 唯夫

山陽病院も2011年に改築を終え既に3年。皆様のご支援のおかげでなんとか運営を続けることができています。巷には認知症の周辺症状を診る病院というイメージがあるのではないのでしょうか。認知症に特化していても、認知症だけで良いのかと考えることがあります。山陽病院は認知症を診る病院で良いのか、統合失調症やうつ病の従来型の病院で良いのか、それとも若年層を対象にする思春期中心の病院に構成し直すのか。今まで何度も自問自答しながら考えてきました。2025年には団塊の世代が後期高齢者になります。これからますます認知症が注目され、2025年に向かい認知症の薬も発売されるでしょう。しかし2025年を過ぎれば認知症も減ってきます。認知症も治る時代が来るかもしれません。精神科の病院も内科の病院も認知症を診療しています。認知症の患者さんは、その周辺症状で困ることが多いのです。

しかし、今までの精神科患者さんもその家族もその症状で困ってきたのです。

私は医師になる時、精神的に困った人を助けたい、悩んでいる人の力になりたい、その人の添え木のような存在でありたいと思って医師になりました。そして、医師になってすぐ、患者さんを治すだけではダメだと思いました。患者さんを支えているのは家族だからです。家族の人も幸せになれる治療を目指さないといけないと。今その思いが明確になっています。やはり、病気の人だけでなく精神的機能に問題を抱えている人を助け、その周囲にいる人の力になる。患者も家族も親戚も会社も。そんな人たちのための病院でありたい。精神機能病院として地域にそして社会に貢献したいと考え、これからも努力して参ります。

理念

この組織は有機体システムである。
有機体システムとは多様な構成要素が、それぞれの個性を保持しながら、同一の目的に向かって機能し行動する組織体のことである。

主文一 互いが互いの存在を自己に見出し、相互の一体性が、完全な価値の創造を可能とする

主文二 人間は出逢うものを通して、自己にとつての真の価値を知り、自己の中に主体的自立を確立する

主文三 統合の思想は、価値の転換を可能とする
価値創造のプロセスで、この知性を生かす

目的

一つ、私達は、今日より明日の未来に向かって、「顧客満足度」に努めることを誓います

一つ、私達は、今日より明日の未来に向かって、自己の価値観を厳しく検証し、「自己革新」に努めることを誓います

一つ、私達は、今日より明日の未来に向かって、有機体思想の下に、「人材育成」に努めることを誓います